



川村ゼミ
チームさどこ!!!!



スポーツと政治、どれくらい密接であるべき？ Sports and Politics: How Close Should the Connection Be?

1.

研究背景

東京オリンピック・パラリンピックで選手たちの抗議行為に関するルールをIOCが緩和した

オリンピック憲章 50章
「オリンピック競技大会ではいかなる広告、主義・思想の宣伝も身体、競技ウェア、アクセサリに表示してはならない」
→部分的に許すガイドラインが発表された



スポーツの場における政治に関する抗議活動はどこまで許容されるべき？

2.

過去の事例

事例 1. 大坂なおみ選手@全米オープン

2020年の全米オープン
試合ごとに警察官による、黒人犠牲者の名前が書かれた黒マスクを着用
→人種差別への抗議と平等を訴えを示した多数なルーツを持つ自信の立場から、勇気ある社会発信として世界的に評価
しかし...スポーツに政治を持ち込むなという批判的な意見も

事例 2. 2006・2009年 WBC 日韓戦

2006年:
WBC第1回大会にて、韓国が2-1で勝利
日韓戦勝利に興奮した徐在応（ソ・ジェウン）が、興奮のあまり韓国国旗をマウンドに突き立てるパフォーマンス
→この「国旗立て」は多くの波紋を呼んだ

2009年:
第2回大会では、再び日韓戦が実現、4-1で韓国が勝利
勝利した韓国代表が再び喜びを爆発させ、前回同様国旗をマウンドに立てた

事例 3. 差別抗議による選手退場

・2019年、ディナモ・キエフ対シャフタールの試合でシャフタールのブラジル人選手が観客の人種的問題を含むヤジに抗議の意思を示す。主審は当選手に退場処分を課し、大きな議論を呼んだ。

・2020年、チャンピオンズリーグのパン・サリジェルマン対イスタンブールの試合で審判がイスタンブールのコーチに人種の発言。両チームの選手が一齐にピッチから退場。

事例 4. オリンピック ボイコット

1980年モスクワオリンピック
1979年にソ連軍がアフガニスタンに侵攻
アメリカを中心に66カ国が不参加
日本もアメリカの要請を受け不参加
→選手の貴重な出場機会の損失
(選手の人権・自由・努力の否定)
政治的效果は得られず
JOCの信頼失墜

事例 5. 膝をつくパフォーマンス

- ・2016年、NFLのコリン・キャパニック選手が黒人差別への抗議として膝をつく行為を始めた。
- ・抗議は「Black Lives Matter (BLM)」運動とともに世界中のスポーツに広がった。
- ・スポーツという注目の場で行動することで人種差別問題への関心を高めた。
- ・一方で、抗議行為自体が目立って、核心的な問題から関心が逸れることもある。

3.

国際大会でのルール

野球

政治的行為の禁止: 国旗掲げなどの政治的パフォーマンス禁止 (例: 韓国のマウンド旗事件)
人種差別問題: 差別禁止の意識強化。ネイティブ・アメリカンのマスコット使用が見直される。
コロナ禍での対応: 唾吐き禁止、距離制限、ユニバーサルDH制導入など。



サッカー

- ・政治的・宗教的メッセージの禁止 (FIFA規則)
→試合を政治的主張の場にしないため
- ・差別反対の行動 (例: 片膝をつく) は人権問題として容認傾向
- ・差別行為は厳しく処罰 (勝点剥奪・無観客試合など)
- ・現在は「政治的主張は禁止」「人権擁護は認める」方向に変化



テニス

ITFやグランドスラムでは政治的発言・表示は禁止 (服装・コート上の発言など)
ただし、個人競技のため発言の自由は比較的広い
大坂なおみ選手が差別問題に抗議
→人権のメッセージとして容認
WTAは多様性・平等・ハラスメント防止をルールに明記
政治よりも人権・社会正義を尊重する流れが強まっている



4.

ルールはどうあるべき？

差別を防止し、スポーツが持つ人権尊重の価値を守るため、

1. 規制すべき表現:

- ・特定の集団への差別、憎悪、暴力を扇動する政治的主張や行為は、スポーツの精神と他者の尊厳を侵害するため、厳しく規制されるべきである。

2. 許容すべき表現:

- ・人権の擁護、多様性の尊重、差別の撤廃といった普遍的な人権のメッセージを訴える活動は、スポーツが目指す理想と一致するため、最大限に許容・保護されるべきである。

5.

結論・考察

ルールの「中立性」から「公平性」へ

スポーツの場における政治活動はさまざまな意見があり、長く議論され続けてきた。

スポーツの場を平等なものにし、差別を防ぐため、政治的主張や政治行為は規制されるべきである一方、人権擁護・人権的メッセージを訴えることなどは許容する必要がある。

References

スポーツブル (2023) 「[WBC] イチローvs.林昌勇、マウンドに国旗立て...語り草となった韓国代表との“宿命の対決”を振り返る」 <<https://sportsbull.jp/p/1474926/>>
JOC - 日本オリンピック委員会「オリンピック憲章」 <<https://www.joc.or.jp/olympism/charter/pdf/olympiccharter2021.pdf>>
FIFA Disciplinary Code 2023 edition <<https://digitalhub.fifa.com/m/59dca8ae619101cf/original/FIFA-Disciplinary-Code-2023.pdf>>
IFAB <<https://www.theifab.com/laws/latest/the-players-equipment/#safety>>
メジャーリーグルール改正 (2020) <<https://www.tsp21.com/sports/mlb/feature/rule2020.html>>
ITF <<https://www.itftennis.com/en/>>
BBC (2020) 「大坂なおみ選手がマスクでアピールする、米黒人犠牲者たち」 <<https://www.bbc.com/japanese/features-and-analysis-54097581>>

池井優 (1983) 「モスクワオリンピックボイコットの政治過程」 慶應義塾創立一二五周年記念論文集：法学部政治学関係, 77-100 慶應義塾大学法学部 <https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=BN01735019-00000002-0077>